

日経産業新聞

2016年(平成28年) 3月11日 金曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY

防災広告特集 2016

復興の芽 育て先端産業

大震災から5年

被災地で先端産業を生み出せ……。東日本大震災から5年。産学官連携で自動運転車やロボットを開発する動きが実を結んできた。東北は人口減や高齢化が進む社会課題の先進地でもある。災害で得た教訓を産業創出に生かす。

被災地で先端研究が進む



開発したドライビングシミュレータと電気バス

みやぎ復興パーク・東北大次世代移動体システム研究会

電気自動車や自動運転

菊池製作所南相馬工場

東大や東京理科大、早大と連携したロボット開発



福島再生可能エネルギー研究所 風力発電や水素エネルギー

岩手大三陸水産研究センター

水産物の陸上養殖

ドローンテックラボ・コンソーシアム

産学官によるドローン産業振興



ドローンで土木測量する技術を開発した

延べ床面積約4万平方メートルの施設の一室には、ゴーカーのような車体がバス型など何台も電気

宮城・多賀城
ソニーは震災を受けてリチウムイオン電池などの生産を縮小。空いた施設を宮城県に提供し、地元企業や大学が利用できるようにした。

東北大、自動運転挑む

自動車が並ぶ。東北大学がみやぎ復興パークに開設した「次世代移動体システム」の研究施設に、高齢者が使うような車やワイヤレス充電システムの開発に取り組む。交通の救世主に、研究の目玉が自動運転車だ。東北大はミッド自動車に協力して、車内や部品を自動運転する車両を開発している。国家試験のときに研究したセンサー技術などを活用して、キャンパス内を自動運転して学生を運ぶ電気バスの導入を目指す。



福島・南相馬

仙台市が参加一般的な光復計画では3日かかると見込まれる。日かかると見込まれる。日かかると見込まれる。日かかると見込まれる。

菊池製作所、ロボット量産

一時、避難が指示された長は福島県飯館村の出身。南相馬市小高区では2月、その子孫で震災前月下旬にロボットの製造から同様に工場を構えて手掛ける菊池製作所の工場が本格稼働した。

雇用創出に貢献
工場では東京理科大学と共同開発した専用型ロボット「マンズル」を量産する。マンズルは人工筋肉に圧縮空気を注入し、膨らむことで動く。震災直後は、人手不足に悩んでいた菊池製作所は、このロボットに注目を集めた。震災直後は、人手不足に悩んでいた菊池製作所は、このロボットに注目を集めた。

15年12月の東北6県の製造業生産指数は前年同月比で93.5と、工業生産の回復が著しい。南相馬の生産は震災前の9割程度に回復した。内閣府は平均値を公表している。震災直後は、人手不足に悩んでいた菊池製作所は、このロボットに注目を集めた。